

令和7年5月30日(金)

50th
ANNIVERSARY

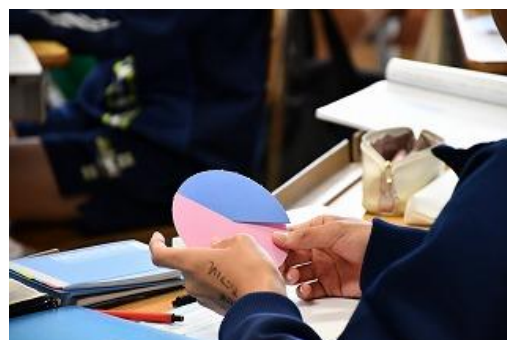


教育実習最終日となりました。3 週間はあっという間です。昨日の研究授業を終えた 3 名は、ホッとしたような表情に見えました。生徒たちと関わるのも今日が最後となります。休み時間に実習生と生徒が談笑している姿も見られ、信頼関係が築けているようでした。最後のあいさつでは、「実習を通して、教員になりたい気持ちが強くなった。」と話してくれました。ぜひ、自分の夢をかなえてほしいと願っています。



道徳は、平成 27 年の学習指導要領改訂により「特別の教科道徳」として教科化されました。中学校は、平成 31 年から全面实施され現在に至ります。それまで、各学校が副読本を選定し、主教材としていましたが、教科化により教科書が発行されました。教科化された道徳の目標は、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことです。これを実現するために、「考え、議論する道徳」の授業を展開します。

画像は、3 年生の道徳の授業の様子です。手元には、2 色の円盤を組み合わせた教具があります。これは心情メーターとか心情円と呼ばれています。葛藤する場面において、A を選択するか、B を選択するか迫られたとき、きっぱり選べないことも多いのが現実です。「どちらかというと…」という揺れた気持ちを表現するために、2 色の割合を変えて視覚化します。議論が進むにつれて、自分の考えを変えたり、より深めたりすることで、2 色の割合が変化していきます。自分の気持ちを深く見つめる活動となります。もう一枚の画像は、机の配置を工夫しています。お互いの顔が見えるように教室の中央を向くようにしています。こうすることで、お互いの表情を見ながら考えを伝えあい、議論がしやすい環境を整えています。



昼休みに、生徒会本部と学級委員が集合しました。生徒総会に向けての打合せです。本校の生徒総会は、全校話し合い活動という他校にはない特色ある取り組みがあります。今年のテーマは、「SNS との付き合い方」です。各クラスでこのことについて話し合い、それを生徒総会で発表します。各クラスの発表を生徒会本部が集約し、最終的に生徒会としての提言をまとめます。

